

受難日の礼拝

頌栄教会

本日は、キリストの受難日（聖金曜日）です。

わたしたちは主の十字架のもとに集まり、救いの歴史におけるイエス・キリストの受難と死を記念します。

『受難日の礼拝』では、十字架上のキリストの七言を聴きます。十字架に磔にされたキリストの言葉を、目と耳をそらさずに、しっかりと聴きましょう。痛みや苦しみが伴うことは当然です。むしろ、主の苦しみと一つとなる恵みを願いながら、一つ一つの言葉を心の奥深くで聴きましょう。そして、魂を静め、十字架の主に、共に祈りをささげましょう。

可能な方は、この礼拝を午後2時から始め、キリストが息を引き取られたとされる午後3時には、沈黙のとき（5～10分程度）をもつことをお勧めします。

この式文を始める前に、十字架のキリストの周りには、どのような人々がいたのか聖書の中に心の目を移していきましょう。弟子や母マリア、群衆、兵士、犯罪人……。これらの人々は、わたしたち一人ひとりに他なりません。

神の招き

共に集う 心と体を礼拝に備えましょう。祈りのうちに共に集います。

招 詞 <ヨハネ 12 : 32>

わたしは地上から上げられるとき、すべての人を自分のもとへ引き寄せよう。

悔い改め 沈黙のうちに、自らを省み、悔い改めのときをもちましょう。

神の言葉

聖書朗読

旧約聖書

イザヤ書 53 : 4-7

彼が担ったのはわたしたちの病

彼が負ったのはわたしたちの痛みであったのに

わたしたちは思っていた

神の手にかかり、打たれたから 彼は苦しんでいるのだ、と。

彼が刺し貫かれたのは わたしたちの背きのためであり

彼が打ち砕かれたのは わたしたちの咎のためであった。

彼の受けた懲らしめによって わたしたちに平和が与えられ

彼の受けた傷によって、わたしたちはいやされた。

わたしたちは羊の群れ 道を誤り、それぞれの方角に向かって行った。

そのわたしたちの罪をすべて 主は彼に負わせられた。

苦役を課せられて、かがみ込み 彼は口を開かなかった。

屠り場に引かれる小羊のように 毛を刈る者の前に物を言わない羊のように

彼は口を開かなかった。

新約聖書

ヨハネによる福音書 19 : 17-19

イエスは、自ら十字架を背負い、いわゆる「されこうべの場所」、すなわちヘブライ語でゴルゴタという所へ向かわれた。そこで、彼らはイエスを十字架につけた。また、イエスと一緒にほかの二人をも、イエスを真ん中にして両側に、十字架につけた。ピラトは罪状書きを書いて、十字架の上に掛けた。それには、「ナザレのイエス、ユダヤ人の王」と書いてあった。

沈 黙

賛 美 讃美歌 136 「血しおしたたる」 1 節 (6 頁参照)

十字架上の七言

十字架上のキリストが、
わたしに告げられている言葉として聴くことが大切です。
一つ一つの言葉の間に、深い沈黙のときをもってください。

🕯 第一の言葉 (ルカによる福音書 23 : 34)

そのとき、イエスは言われた。

「父よ、彼らをお赦してください。自分が何をしているのか知らないのです。」
人々はくじを引いて、イエスの服を分け合った。

(沈 黙)

🕯 第二の言葉 (ルカによる福音書 23 : 39-43)

十字架にかけられていた犯罪人の一人が、イエスをののしった。「お前はメシアではないか。自分自身と我々を救ってみろ。」すると、もう一人の方がたしなめた。「お前は神をも恐れぬのか、同じ刑罰を受けているのに。我々は、自分のやったことの報いを受けているのだから、当然だ。しかし、この方は何も悪いことをしていない。」そして、「イエスよ、あなたの御国においでになるときには、わたしを思い出してください」と言った。するとイエスは、

「はっきり言っておくが、あなたは今日わたしと一緒に楽園にいる」と言われた。

(沈 黙)

🕯 第三の言葉 (ヨハネによる福音書 19 : 25-27)

イエスの十字架のそばには、その母と母の姉妹、クロパの妻マリアとマグダラのマリアとが立っていた。イエスは、母とそのそばにいる愛する弟子とを見て、母に、「婦人よ、御覧なさい。あなたの子です」と言われた。

それから弟子に言われた。「見なさい。あなたの母です。」

そのときから、この弟子はイエスの母を自分の家に引き取った。

(沈 黙)

🕯️ 第四の言葉 (マタイによる福音書 27:45-46)

さて、昼の十二時に、全地は暗くなり、それが三時まで続いた。
三時ごろ、イエスは大声で叫ばれた。「エリ、エリ、レマ、サバクタニ。」これは、「わが神、わが神、なぜわたしをお見捨てになったのですか」という意味である。

(沈黙)

🕯️ 第五・第六の言葉 (ヨハネによる福音書 19:28-30(フランシスコ会訳))

その後、イエスは、もはやすべてが成し遂げられたことを知って仰せになった、「渴く」。こうして、聖書の言葉は成就した。そこには、酸いぶどう酒のいっぱい入った器が置いてあった。兵士たちは、このぶどう酒をたっぷり含ませた海綿をヒソプに付けて、イエスの口もとに差し出した。イエスは酸いぶどう酒を受けると、仰せになった。「成し遂げられた」。

(沈黙)

🕯️ 第七の言葉 (ルカによる福音書 23:45-46)

太陽は光を失っていた。神殿の垂れ幕が真ん中から裂けた。
イエスは大声で叫ばれた。「父よ、わたしの霊を御手にゆだねます。」
こう言って息を引き取られた。

沈黙

賛美 讃美歌 136 「血しおしたたる」 2節 (6頁参照)

感謝の応答

祈 禱

憐れみ深い天の父、十字架のもとで、今、わたしたちは共に祈ります。

わたしたちを赦してください。

過去の束縛から自由になることを阻む、わたしたちの恐れや愚かさを赦してください。

あなたの助けによって、わたしたちが新しい人になれることを信じさせてください。

すべてを赦し、新たにあなたの霊を迎え入れることができますように。

わたしたちの主イエス・キリストによって。アーメン。

主の祈り

てん
天にましますわれのちち、
ねが
願わくは御名をあげめさせたまえ。
くに き
み国を来たらせたまえ。
みごころ てん
御心の天になるごとく、ち
地にもなさせたまえ。
われ にちよう かに きよう あた
我らの日用の糧を今日も与えたまえ。
われ つみ おか われ ち ゆる われ つみ ゆる
我らに罪を犯すものを我らが赦すごとく、我らの罪をも赦したまえ。
われ こころ
我らを試みにあわせず、あくよりすくいだ
悪より救い出したまえ。
くに ちから さかえ かぎ なんじ
国と力と栄とは、限りなく汝のものなればなり。 アーメン。

派遣

祝 福 沈黙をもって、心のうちに神からの祝福の言葉を聴きましょう。

へいわ
平和のうちに、この世へと出て行きなさい。
しゅ かみ つか りんじん あい しゅ かみ あい りんじん つか
主なる神に仕え、隣人を愛し、主なる神を愛し、隣人に仕えなさい。
しゅ
主イエス・キリストの恵み、神の愛、聖霊の交わりが、
あなたがいちどうとも
あなたがた一同と共にあるように。アーメン。

沈 黙 キリストの死を覚え、身を慎んで、復活の日まで過ごしましょう。

136

主イエス・キリスト 苦難

HERZLICH TUT MICH VERLANGEN
(PASSION CHORALE)
Hans Leo Hassler, 1601Salve Caput cruciatum
Bernard de Clairvaux, 1091-1153

♩=69 ちしおしたたる主のみかしらと
げにさされし主のみかしらな
やみとはじにやつれし主をわ
れはかしこみきみとあおぐ アーメン

ガラ 3 : 1 マタ 27 : 29

1

血しおしたたる 主のみかしら、
とげにさされし 主のみかしら、
なやみとはじに やつれし主を、
われはかしこみ きみとあおぐ。

2

主のくるしみは わがためなり、
われは死ぬべき つみびとなり、
かかるわが身に かわりましし
主のみこころは いとかしこし。